



© 小林正典

認定NPO法人
幼い難民を考える会
CYR CARING FOR YOUNG REFUGEES

2009年12月
NO.92

Children, Our Future

子どもたちの明日

目次

外遊具3点セットの紹介	2
美しいシルク製品を生む女性たち	4
卒園児の「今」 ター・ラブリンさん	6
国内活動報告 ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社	7
チャリティイベントのお知らせ	7
～連載～ 給食レシピ③「豆腐、にんじん、豚ひき肉の炒め物+おかゆ」	8

幼い難民を考える会（CYR）は、難民となったカンボジアの子どもたちがけんめいに生きようとする姿に触発され、1980年に組織されました。子どもたちが心身ともに健全に成長し、その親たちが人間らしい生活環境のもとで自立できることが、難民を出さない平和な社会につながることを信じ、復興をめざすカンボジアで活動を続けています。



外遊具3点セット



©小林正典

政府の予算不足により、カンボジアの幼稚園には遊具がほとんどありません。CYRIは、子どもたちの遊具を作り、提供しています。みんなが大好きな遊具は、これまで親や先生など身近なおとなが心をこめて作ってきました。日本から持ち込むのではなく、カンボジアの素材でカンボジアの文化になじむもの。そして、簡単に作ることができ、自分たちで修理できるもの。設計するのもカンボジアの人が行います。素材、大きさ、色、形、耐久性などを工夫して、子どもの成長を促すように考えられたさまざまな遊具。その中の「外遊具3点セット」を紹介します。

遊具ができるまで

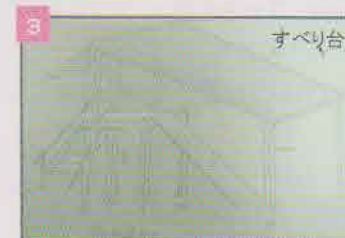


- Step1 製作マニュアルの作成
- Step2 幼稚園、村の委員会、学校関係者などに製作を依頼
- Step3 マニュアルを見ながら製作(1-2ヶ月)

数字で見よう

CYRIは、2004年から外遊具支援を始め、
2009年11月までに**51ヶ所**の
カンボジアの幼児教育施設に設置しました。

製作マニュアルを見よう



1 シーソー

一人が高くなったら、もう一人は低くなるという単純な仕組み。世界中で愛されているシーソーは、二人以上でしか楽しめない。社会性や、重さのバランスを教えてくれる。重い方が下がり、軽い方が上がるということなど簡単な物理の法則を、感覚的に体験する機会になる。



©小林正典

2 ブランコ

最初から立って漕ぐのはなかなか難しい。まずは周りの誰かに「押して！」とせがんで、手伝ってもらうことから始まる。ブランコは子どもの平衡感覚を育て、足腰の筋肉の発達をもたらす。順番を待ったり、ぶつからないように距離をあけるなど、社会性が芽生えるきっかけも作ってくれる。



©小林正典

3 すべり台

「さあ、勇気をだして！」降りる前には小さな勇気があるすべり台。子どもたちは、バランスを崩さないように身体全体を調整する。腕を使って台の真ん中をすべるように工夫することを覚え、高い場所に慣れる機会を与えてくれる。



©小林正典

ご協力をお願いします

外遊具募金

20万円で

外遊具3点セットを設置できます

20万円以上ご寄付頂いた方は、遊具にお名前をお入れします。



カンボジアのCYR織物研修センターでは、女性の自立を目的として伝統的な織物の技術研修を行っています。ここで学ぶ女性たちの多くは10代後半から20代。なかには30代で世帯主の女性、離婚した女性、貧しい家庭の女性も参加しています。織物を学びたい理由はみんな同じ・・・家族の生活を助けたいから。
 これまでに130名の女性たちが研修を修了し、家で織物を続けています。CYRが販売しているシルク製品の生地は、ここで紹介する修了生が織っています。

シルク製品を織っているのはわたしたちです。



コーン・トツプ(25)

製品: 絨地
 特技: 織りの工程が全て上手にできる

メッセージ:
 織物の技術を学んだおかげで、家族を支えることができるようになりました。好きな洋服を買えるのが楽しみです。



オク・スレイエム(19)

製品: 絨地
 特技: 生地の上にスカーフも織れる

メッセージ:
 収入が得られるようになって、豚を飼っている両親をサポートできるようになりました。



ガオ・サラエム(34)

製品: 無地生
 特技: 1日に2m織れる

メッセージ:
 夫と離婚し、娘2人と暮らしています。たくさん注文がくるように、これからも頑張ります。



ミン・サラン(25)

製品: 絨地
 特技: 染め、複雑な柄を上手に織れる

メッセージ:
 織りの技術で、家族の収入を支えています。得意なピダンが日本で好評だと聞いて、とても嬉しいです。

「家族全員で、がんばっています」

シルク製品を縫っているのはわたしです。

修了生が織った生地で作っているのは、家庭環境の厳しい女性たちです。縫製の収入で家族の生活を支えているチューブ・ソムウンさん(43)を訪ねました。



家族のことを教えてください

23歳のときに結婚しましたが、3年で離婚しました。夫は暴力がひどかったため。今21歳になる息子は、私と一緒に暮らしています。息子は、生まれつき体が弱いため、これまでに手術をしたり色々手を尽くしましたが、左目がまったく見えません。右目も視力が弱いので、家にいながら家事を手伝っています。

私は38歳で再婚しました。今の夫は、軍隊に入隊していました。僻地の森林伐採の仕事に出かけた時のことです。倒れてきた大木の下敷きになって背骨を骨折してしまい、以来普通の仕事ができなくなりました。私と結婚する2年前のことです。

今のお仕事は？

近所でマスコットづくりをしている人がいたので、それを見ながら独学で縫製を学びました。ミシンは、障害者を支援する団体からもらうことができました。地雷で被害を受けた兄がそこで働いているんです。当時は、自分でマスコットを売りに市場へ行っていましたね。CYRの仕事は、カンボジアのNGOの紹介を受けて2006年から始めました。家にいる夫と息子にも手伝ってもらいながら、ゾウ、ウマ、ブタなどのマスコットを縫っています。私が縫製をして息子が綿を詰めた後、夫が目や鼻などをつけます。家族3人でがんばっています。



左:ウンさん家族
右:マスコット製品



手織りシルク製品 X'masセール開催

最大 **90%OFF**

日時:

12/17(木)~19(土) 10時~17時

場所:

カンボジア手織り布ショッププラタナ
文京区音羽1-10-4池田ビル3F (CYR内)



収益は、女性たちの貴重な
現金収入となります。

卒園児の「今」

CYRがカンボジアで保育所を開いてから17年。第一期卒園児は20歳を超えるようになりました。2002年、2004年に引き続き、3回目の卒園児調査を行いました。前回と比べて、中学就学率は1.4倍に、高校は5倍以上に増え、地域での教育に対する意識の変化が伺えます。

今回は、大きなニュースがありました。地方の高校就学率がわずか6.1%の中、大学を目指している卒園児がいたのです。貧困を抱え、高等教育まで受けるのがとても厳しい状況に置かれながら必死で勉強に励んでいる卒園児を、連載で紹介します。



ター・ラブリさん (19歳)

将来は、自分の会社をつくりたい

高校に入るとき、父さんは「どちらでも良い」と言いましたが、中学校の先生をしている母さんは、僕に勉強を続けさせたいと言いました。僕自身は、知識を増やせば将来の生活が良くなると思ったので、高校には行きたかったです。

無事に高校へ入学しましたが、最後の卒業試験に落ちてしまいました。でも再試験に挑戦したい。今は生活費を稼ぐために、プノンベンのカジノでカーペットの掃除をするアルバイトをしています。給料は、月に20日間働いて5,000円くらいかな。食事がつくのでありがたいです。

———将来の夢は？

大学まで出て、もっと色々なことを学びたいです。将来は、自分の会社をつくりたい。今勤めているような清掃会社もいいな。

家族構成と仕事

父	農業
母	中学校教師
本人(19)	高校3年生
妹(17)	
弟	(病死)



プノンベンのカジノ、夜になるとネオンを放つ

国内活動

-ありがとうございます-

CYRカンボジアの活動は、さまざまな日本での協力に支えられています。

企業



社員と地域をつなぐ企業ボランティア活動

「みんなで布チョッキン」に参加して

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社

小島 三津雄 さん



活動後に全員集合

私とCYRさんとの出会いは、社内のボランティア・プログラムを通じて参加した「布チョッキン」活動です。ゴールドマン・サックスは、地域コミュニティにおいて良き企業市民としての役割を果たすべく、地域に根ざした貢献活動を目指し、様々なコミュニティ活動を行っています。こうした地域活動への参加は、ゴールドマン・サックスの文化・伝統の一つと考えられています。「布チョッキン」活動へのボランティア協力も、こういったコミュニティ活動の一環で、今年で4年目を迎えます。その間、延べ278人の社員ボランティアが参加し、カンボジアの子どもたちのために用意した布はボール411個分、お人形711体分になりました。

私自身この4年間、毎年参加し、カンボジアの音楽を聴きながら、せつせと布を切ってきました。是非とも、これをお読みになっている皆さんにも参加して頂きたいのですが、「布チョッキン」の活動は、まさに「一石四鳥」ともいえる相乗効果を期待できる素晴らしいプログラムです。活動を重ねるたびに、このプログラムが如何に素晴らしい知恵をベースにした、真心のこもったものであるかを理解しました。そして、これからは、「布チョッキン」に限らず、もっと多くの面でCYRさんの活動をお手伝いさせていただきたいと考えています。

※みんなで布チョッキンとは？

カンボジアの子どもたちのためにボールとお人形をつくる活動

チャリティ イベントのお知らせ

CYRへ寄付されます

※詳細は、同封のハガキ・チラシをご覧ください。

第13回「写真家達によるチャリティー展」

日にち:12月11日(金)~14日(月)

時間 :10:00~19:00 ※最終日14:00まで

場所 :東京ミッドタウン(東京外環日比谷線 六本木)
富士フィルムフォトサロン東京スペース1.2.3

主催 :フォトボランティアジャパン基金

内容 :プロ写真家の作品(約400点)展示即売



クリスマスミサと小コンサート

日にち:12月21日(月)

時間 :18:00~

場所 :聖心女子大学聖堂
(東京外環日比谷線 広尾)

主催 :CANTATE DOMINO



給食レシピ③

豆腐、にんじん、豚ひき肉の炒め物＋おかゆ

カンボジアの子どもたちが食べている給食のレシピを、連載でご紹介します。
ぜひ作ってみてください♪



豆腐、にんじん、豚ひき肉の炒め物 ＋おかゆ

材料（5人分）

1人あたり 205 kcal

豚ひき肉	25g
豆腐	1/2丁
にんじん	50g
にんにく	1かけ
ネギ	少々
サラダ油	大さじ1/2
やし砂糖	小さじ1
ナンプラー(魚醤)	大さじ1/2
塩	少々

■ 下準備

1. 人参を千切りにする
2. にんにくを、みじん切りにする

■ 作り方

1. サラダ油を熱し、にんにくを炒める
2. 豚ひき肉を加えて炒める
3. にんじんを加えて更に炒める
4. やし砂糖を入れて溶かす
5. 塩、ナンプラーで味付けする
6. 豆腐を入れて混ぜ合わせる
7. 最後にねぎを散らしてできあがり
8. おかゆといっしょに食べる

ポイント: 人参、豆腐を炒め過ぎないように注意する



カンボジアには、給食が提供される幼稚園・小学校はほとんどありません。CYRは、子どもたちの成長を支えるメニューを考えています。今年度は、調理担当の方や先生たちを対象に、栄養ワークショップを開いています。給食を開始した当初は、砂糖と塩を大量に入れる習慣がありましたが、今では食材から味が充分にでることも理解されました。子どもたちにも好評です。

このメニューは、1人分、約20円！みなさまからの給食募金で作られています。

CYRの活動を支援ください

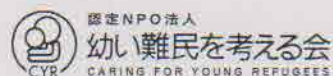
年会費 正会員 ¥10,000 学生会員 ¥3,000 団体会員 ¥30,000

下記の口座にご送金ください。

■ 郵便局 No.00110-8-36227 (特活)幼い難民を考える会

■ 銀行 三菱東京UFJ銀行六本木支店 (普)No.1351747 特定非営利活動法人 幼い難民を考える会

※CYRは認定NPO法人です。5,000円を超えるご寄付は寄付金控除の対象となります。



〒112-0013 東京都文京区音羽1-10-4 池田ビル3F
TEL: 03-3943-6971 FAX: 03-3943-6973
Email: info@cyr.or.jp URL: http://www.cyr.or.jp

子どもたちの明日92号
◆発行日:2009年12月5日
◆発行人:深水正勝